

疾患別治療待ち時間一覧

【がん関連】

2023年6月更新

診療部門	対象疾患	治療内容	待ち時間 (緊急の場合) 通常	コメント
腫瘍内科	固形がん	化学療法	0~2週	検査結果、状態等の確認次第早期導入できます。
		放射線化学療法	2~3週	検査結果、状態等の確認、放射線治療の待機状況次第ですが、できる限り早期導入できます。
消化管外科	食道がん	手術	3~4週	
		化学療法	0~2週	術前治療を含みます。
		放射線治療	2~3週	
	胃がん・胃腫瘍	手術	2~4週	検査の実施状況により異なります。
		化学療法	0~2週	
	大腸がん・大腸腫瘍	手術	2~4週	検査の実施状況により異なります。
化学療法		0~2週		
消化器内科	早期胃がん	内視鏡的粘膜下層剥離術 (ESD)	2~3週	
	早期大腸がん		2~3週	
	大腸ポリープ	内視鏡的粘膜切除術 (EMR)	1~2週	
肝胆膵外科	肝がん・肝腫瘍	手術 (肝切除orマイクロ波凝固壊死療法)	3~6週	
		化学療法	0~1週	
		肝動脈塞栓術 (TAE)	1~2週	
	膵がん・膵腫瘍	手術	3~6週	
	胆嚢がん・胆管がん	手術	3~6週	
乳腺センター	乳がん・乳腺腫瘍	手術	2~3ヶ月	術前の検査期間を含みます。
		化学療法	1~2週	紹介元での検査内容によって開始時期が異なります。
		放射線治療	1~2ヶ月	
呼吸器外科	肺癌	手術	1~3週	手術は、病態によってロボット支援下、完全胸腔鏡下、小開胸下となります。 病状を相談の上、1~2か月後の治療を計画させていただくこともあります。
		気管支鏡検査	1週	
	転移性肺腫瘍、縦隔腫瘍他	手術	1~2週	病状を相談の上、1~2か月後の治療を計画させていただくこともあります。
呼吸器内科	肺癌	化学療法	2~4週	気管支鏡にて診断後、遺伝子変異の検索、免疫分子の染色の結果が必要になるため、小細胞癌だった場合はさらに早まります。
		化学放射線療法	3~5週	同上で放射線治療の待ち時間があります。
			数日~1週	上大静脈症候群など緊急時は可能な限り早期に施行します。
血液内科	急性白血病	化学療法	0週	緊急入院で直ちに対応します。
	悪性リンパ腫	化学療法±放射線療法	2週	病勢に応じて判断しています。組織生検と病理診断に2週程度を要します。
	多発性骨髄腫	化学療法±放射線療法	0~2週	病勢に応じて判断しています。高Ca血症や病的骨折など緊急を要する場合は直ちに対応します。
	骨髄異形成症候群	化学療法±輸血療法	0~2週	診断確定に1-2週程度を要します。輸血が必要な場合は直ちに対応します。
	再生不良性貧血/ 特発性血小板減少性紫斑病	免疫抑制療法	0~2週	診断確定に1-2週程度を要します。 重症度に応じて速やかに対応します。
泌尿器科	腎臓癌	静脈腫瘍栓、周囲臓器合併切除の手術	4~8週	他科との共同手術のため日程調整が必要です。
		腹腔鏡下手術、開腹手術	4~8週	
		ロボット支援腎部分切除または腎摘除	8~12週	
	腎盂尿管癌	腹腔鏡下手術、開腹手術	4~8週	診断確定前に尿管ファイバーなどの検査が必要に成る場合あり、この場合は検査のため2週程度待機期間があります。
		ロボット支援手術	8~12週	
	膀胱癌	経尿道的手術	2~4週	
		ロボット支援下手術	8~12週	通常、術前化学療法を施行するため、その期間を入れての待機時間です。
		膀胱全摘術+尿路変更術		
	前立腺癌	ロボット支援下手術	8~12週	
		高線量率組織内照射 (イリジウム)	8~12週	腰椎麻酔困難例は待機期間を延長します。
低線量率組織内照射 (ヨウ素)		8週	治療前3週程度前に治療計画が必要です。	
前立腺針生検		4~6週	検診の時期にて生検希望者多数	

疾患別治療待ち時間一覧

	精巣がん	後腹膜リンパ節郭清	6～8週	
		高位精巣摘除	1週以内	
	その他悪性疾患	手術	4～8週	6～7時間の手術症例はさらに待機時間が長くなります。
	良性疾患	経尿道的手術	4～6週	
		腹腔鏡下手術、開腹手術	6～8週	
婦人科	悪性腫瘍	手術	4～8週	
		放射線治療	2～3週	
		化学療法	1～2週	
	良性腫瘍	腹腔鏡下手術	6～7ヶ月	
		開腹・経腔手術、ロボット支援下手術	6～7ヶ月	
耳鼻咽喉科 頭頸部外科	鼻副鼻腔がん 口腔がん 咽頭がん 喉頭がん 甲状腺がん	放射線治療	2～3週	すでに病理診断、画像診断がある場合は、早期に治療開始できます。
		化学療法	2～3週	
		手術	1～3週	
		内視鏡下腫瘍切除 (ESS・TOVS)	1～3週	
	咽喉頭がん	ロボット支援手術 (ダヴィンチ)	2～4週	再建を伴う手術は、形成外科や消化器外科と調整で日時を決定します。
	再発頭頸部癌	アルミノックス (光免疫療法)	2～4週	
	頸部腫瘍 リンパ節腫脹 顎下腺腫瘍 耳下腺腫瘍 甲状腺腫瘍	手術	1～4週	
歯科口腔外科	口腔がん (舌癌、歯肉癌など)	手術	2～3週	
	良性顎骨、 軟組織の腫瘍	手術	2～3週	
		放射線、化学療法	1～2週	口腔、頭頸部腫瘍カンファにて協議後日程調整をします。
放射線科		放射線治療	1～4週	各診療科の放射線治療に準ずるが基本は1～3週です。
皮膚科		皮膚悪性・良性腫瘍手術	1～6週	

【心血管関連】

診療部門	対象疾患	治療内容	待ち時間 (緊急の場合) 通常	コメント
循環器内科	不整脈	カテーテルアブレーション	2～4週	原則として、手術待機期間中は当科外来に入院して頂きます。
		デバイス植込み術 (ペースメーカー、植込み型除細動器、両心室ペースメーカー)	1～2週	病状により、緊急入院もあります。
		電気的除細動	随時	病状により、緊急入院、治療もあります。
	虚血性心臓病	冠動脈インターベンション	1～2週	病状により、緊急入院、治療もあります。
	深部静脈血栓症 肺塞栓症	下大静脈フィルター留置術	随時	病状により、緊急入院、治療もあります。
心臓外科	冠動脈疾患	冠動脈バイパス術、左室形成など	2～4週	心不全、狭心症等の程度により手術時期が異なります。
	弁膜症疾患	大動脈弁置換術、僧帽弁形成術 など	2～4週	心不全の程度により手術時期が異なります。
	大血管疾患	上行、弓部、胸部下行大動脈人工血管置換術 (ステントグラフト含)	2～4週	但し、急性大動脈解離は、当日に緊急手術を行います。
血管外科	腹部大動脈瘤	ステントグラフト内挿術、または、開腹人工血管置換術	2～4週	術前に、外来で心疾患・脳血管障害の検索まで行いますので、検査に要する期間が2週間程度かかります。
	閉塞性動脈硬化症	血管内治療 (カテーテル治療)	1週	火、金曜日に行っており、透析中の患者さんについては、透析のスケジュールによりお待たせすることもあります。
		バイパス手術	2～4週	透析患者さんの場合は、透析のベッドの空き具合で、お待たせすることもあります。
	下肢静脈瘤	血管内焼灼術、または、抜去切除術	2～4週	夏場は患者さんが多くなり、もう少しお待たせすることがあります。

疾患別治療待ち時間一覧

【脳循環関連】

診療部門	対象疾患	治療内容	待ち時間 (緊急の場合) 通常	コメント
脳血管・神経内科	脳卒中や神経疾患	急性脳卒中	随時	24時間対応しています。
		急性神経疾患	随時	24時間対応しています。
		脳血管障害や神経疾患の精査	翌日～1週間	救急対応を要しない場合です。
脳神経外科	開頭術を要する 脳神経疾患全般	開頭術	2～6週	緊急性がある場合は、即日入院で対応します。
	脳腫瘍	化学療法	1～2週	2回目以降の入院で、今回は摘出術を必要としない場合です。
	水頭症	脳室腹腔短絡術	1～2週	まず、髄液排除試験を行い、効果がある場合は後日、手術を計画します。
	頸動脈狭窄症	頸動脈内膜剥離術	2～6週	
	急性硬膜外・硬膜下血腫	開頭血腫除去術	随時	24時間対応。緊急手術を行います。
	慢性硬膜下血腫	穿頭血腫除去術	随時	24時間対応。緊急手術を行います。
脳血管内治療科	脳動脈瘤	コイル塞栓術	4～6週	緊急性がある場合は、即日入院で対応します。
	頸動脈瘤	頸動脈ステント留置術	2～4週	
	その他	血管内治療（カテーテル治療）	4～6週	

【小児・周産期関連】

診療部門	対象疾患	治療内容	待ち時間 (緊急の場合) 通常	コメント
周産期センター	妊娠分娩に関わる疾患	産科救急	随時	母体搬送受け入れ可能な場合は即時対応します
		稽留流産など	(随時) 1週間以内	可能であれば入院時期の調整を行います。
		出生前検査の希望	(1-2週) 2-3週	遺伝カウンセリングの申し込みが必要です（胎児に異常所見を認める場合は随時産科で対応します）
	新生児疾患（NICU）	病的新生児	随時	受け入れ可能な場合は即時対応します
小児科	一般小児疾患	一般外来での診療	随時診療します	入院依頼は必ず電話で連絡をお願いします。
	NICU（他施設）出身児	フォローアップ外来での診療	1週程度	ご家族と調整して事前に予約をします。
	神経疾患	小児神経・発達外来での診療	1～4週	月1回の専門外来で診療します。
小児外科	小児外科全般	良性疾患手術全般	0～2週	手術の待ち時間は、診断後1～2週間程度です。 急性虫垂炎などの急患は、可及的速やかに行います。

【リウマチ・膠原病関連】

診療部門	対象疾患	治療内容	待ち時間 (緊急の場合) 通常	コメント
リウマチ科	変形性関節症	人工関節置換術	4週程度	自己血貯血が不要な方は左記より早期に手術可能な場合があります。
		関節リウマチ	人工関節置換術	4週程度
	関節リウマチ	足の外科手術	4～8週	
		手、その他の手術	4週程度	緊急症例は要相談です。
リウマチ科・ 膠原病内科	関節リウマチ	抗リウマチ薬治療	0～1週	受診当日でも治療開始可能です。病勢に応じ判断します。
		生物学的製剤治療	0～2週	
膠原病内科	膠原病	ステロイド治療	0～2週	病勢に応じ対応します。
		免疫抑制剤	0～2週	病勢に応じ対応します。
		血漿浄化療法（血漿交換など）	病状に応じ随時	病勢に応じ対応します。

疾患別治療待ち時間一覧

【一般】

診療部門	対象疾患	治療内容	待ち時間 (緊急の場合) 通常	コメント
整形外科	脊椎疾患	脊椎手術	4～8週	緊急症例は要相談です。
	変形性関節症	人工関節置換術	4週程度	
	足部・足関節疾患	骨切り術・関節鏡手術	4～8週	
	骨折・外傷	手術	当日～数日	症例に応じて緊急に対応いたします。
総合診療科		全般	0週	当日待ち時間以外の待ちは発生しません。
呼吸器外科	気胸・良性疾患	手術	0～2週	症例に応じて緊急入院等で対応します。
呼吸器内科	呼吸器感染症	ステロイド、抗菌剤等	当日～数日	患者さんの全身状態、A-DROPの指標によります。
	急性呼吸不全（COPD,間質性肺炎の急性増悪含む）	ステロイド、抗菌剤、酸素投与等	当日～翌日	患者さんの全身状態、A-DROPの指標によります。
	慢性呼吸不全	酸素療法等	1週	緊急性はないので通常の待機期間です。
代謝内分泌内科	代謝内分泌疾患	内分泌緊急疾患	0週	可及的速やかに治療開始します。
		高血糖緊急症／重症低血糖	0週	可及的速やかに治療開始します。
		糖尿病教育入院	0～2週	約2週間の入院が標準ですが、入院期間は適宜対応します。
		副腎静脈サンプリング検査	1～4週	
免疫感染症科（コンバインドクリニック）	AIDS/HIV感染症	AIDS 発症（緊急治療必要な場合）	0週	生命の危機にあるようなAIDS発症例に関しては即日より治療開始します。
		AIDS未発症HIV感染症未治療患者	4週以降	受診は随時だが、自立支援を利用した治療開始には4週空けた2度の検査結果が必要になります。
		自立支援手続き終了後のHIV感染症治療中の患者	0週	
眼科	裂孔原性網膜剥離	手術	(0)～1週	
	黄斑前膜、黄斑円孔	手術	1～4週	
	白内障	手術	1～4週	
	増殖糖尿病網膜症	手術	1～4週	
	緑内障	手術	1～4週	
精神科		全般	0週	紹介状が有ることが前提ですが、予約なしで診療します。当日の待ち時間はあります。
高血圧内科	高血圧	外来降圧治療	0～2週	
	治療抵抗性 二次性高血圧疑い	入院精査加療	1～4週間	入院期間は3～7日程度です。
形成外科	眼瞼下垂	手術	8～12週	夏休み、春休み、年末などは早期に手術予約がいっぱいになる可能性があります。
	皮膚皮下腫瘍	手術	8～12週	
	顔面骨々折	手術	1～3週	
	先天異常（手・足・耳）	手術	3～6週	
腎臓内科	慢性糸球体腎炎	ステロイド療法	0～2週	
	慢性腎不全	腎代替療法	1～4週	
耳鼻咽喉科	慢性副鼻腔炎 術後性上顎洞嚢胞	ESS（内視鏡下鼻副鼻腔手術）	1～4週	
	慢性扁桃炎	両側口蓋扁桃摘出術	1～4週	
	いびき・睡眠時無呼吸	口蓋形成術	2～4週	睡眠時の検査が終わっている方は早期に手術します。
	がま腫・唾石	がま腫摘出・顎下腺摘出	1～4週	
	鼓膜穿孔	鼓膜形成術・鼓室形成術	2～4週	
	声帯ポリープ、結節	ラリngoマイクロサージャリー	1～4週	

疾患別治療待ち時間一覧

頸部膿瘍 扁桃周囲膿瘍 視力障害を伴う副鼻腔炎 異物摘出 鼻出血	緊急手術	0~1日	症例に応じて緊急に対応いたします。
--	------	------	-------------------